
カード販売機

VML3E-2

取扱説明書

第5版:2024年3月14日



東亜電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意.....	3
1 はじめに.....	7
2 特徴.....	7
3 ブロック図および各部の名称とその機能.....	8
3-1 ブロック図.....	8
3-2 全体図.....	9
3-3 内部機構図.....	10
4 付属品と設置の方法.....	11
4-1 付属品.....	11
4-2 架台の設置方法.....	11
4-3 本体の設置方法.....	13
4-4 盗難および転倒防止.....	16
5 設置後の操作.....	17
5-1 初期設定.....	17
5-2 販売モード.....	18
5-3 メンテナンスモード.....	22
5-4 販売するカードの補充.....	28
6 カード販売操作.....	29
7 紙幣識別機カバーの使用方法.....	30
7-1 紙幣識別機カバーの取り外し.....	30
7-2 紙幣識別機カバーの取り付け.....	31
8 紙幣の回収方法.....	32
9 日常のお手入れ.....	33
9-1 紙幣識別機の清掃.....	33
9-2 カード払い出し機の清掃.....	37
10 エラー表示およびエラー解除方法.....	38
11 プリンターの接続方法.....	40
12 警報ブザーの動作.....	41
13 製品仕様.....	42
14 保証規定.....	43

安全上のご注意

—かならずお守りください—

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。

警告



AC100V 以外禁止

指定の電源電圧 (AC100V) 以外で使用しないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けしないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の危険があります。



電源プラグを抜く

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そして販売会社にご連絡ください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



専門業者へ

電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



アース線接続

アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。



分解禁止

本機を分解しないでください。
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の危険があります。



禁止

電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

注意



取り外し確認

移動させる場合は接続ケーブルなどはずしてください。
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。



禁止

腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄
など）が含まれている環境へも設置しないでください。



禁止

埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けないで
ください。絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に重い物を置かないでください。
転倒、落下などが怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから
抜いてください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らな
いください。コードが断線、ショートし、火災、感電の原因と
なることがあります。

1 はじめに

VML3E-2は、プリペイドカードを販売するカード販売機です。

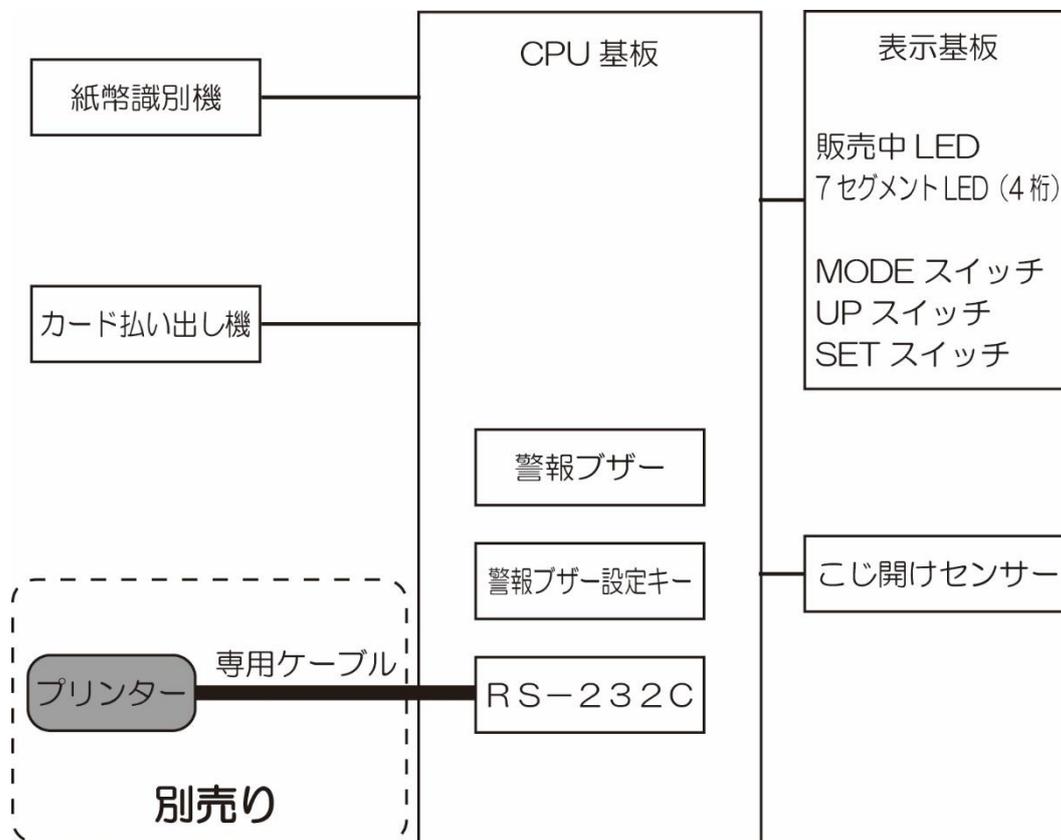
2 特徴

- 1000円紙幣識別機とカード払い出し機が内蔵されており、マイクロプロセッサにより販売動作を制御しています。
- 表示は4桁数値表示器となっており、販売金額、エラーなどを表示します。
- 販売枚数、紙幣挿入枚数のトータル、および期間カウンタ(電子式)を標準装備しています。
- 防犯強化板金、警報ブザー、警報ブザー設定スイッチを標準装備し、機能面だけでなくセキュリティ面についても充実したカード販売機です。
- 専用プリンター※1を接続するためのインターフェースを装備しており、売上明細書が必要な場合は印刷することができます。
- 本体部は板厚2.3mmの板金、さらに前面扉の紙幣識別機周辺を板厚5mmの防犯強化板金で補強しています。
- 紙幣識別機をステンレス製のカバーで保護しています。
- 紙幣の識別には、磁気、光学方式を併用しています。
- 紙幣引き抜き防止機能を備えています。
- 内部機器の部分はスライド式になっており、簡単に引き出すことができます。
- テスト機能がありますので、設置時およびメンテナンス時に各種カウンタの値を変えることなく、機器のテストが行えます。
- カード払い出し機構には、安定した払い出しが可能なスライド式を採用しています。

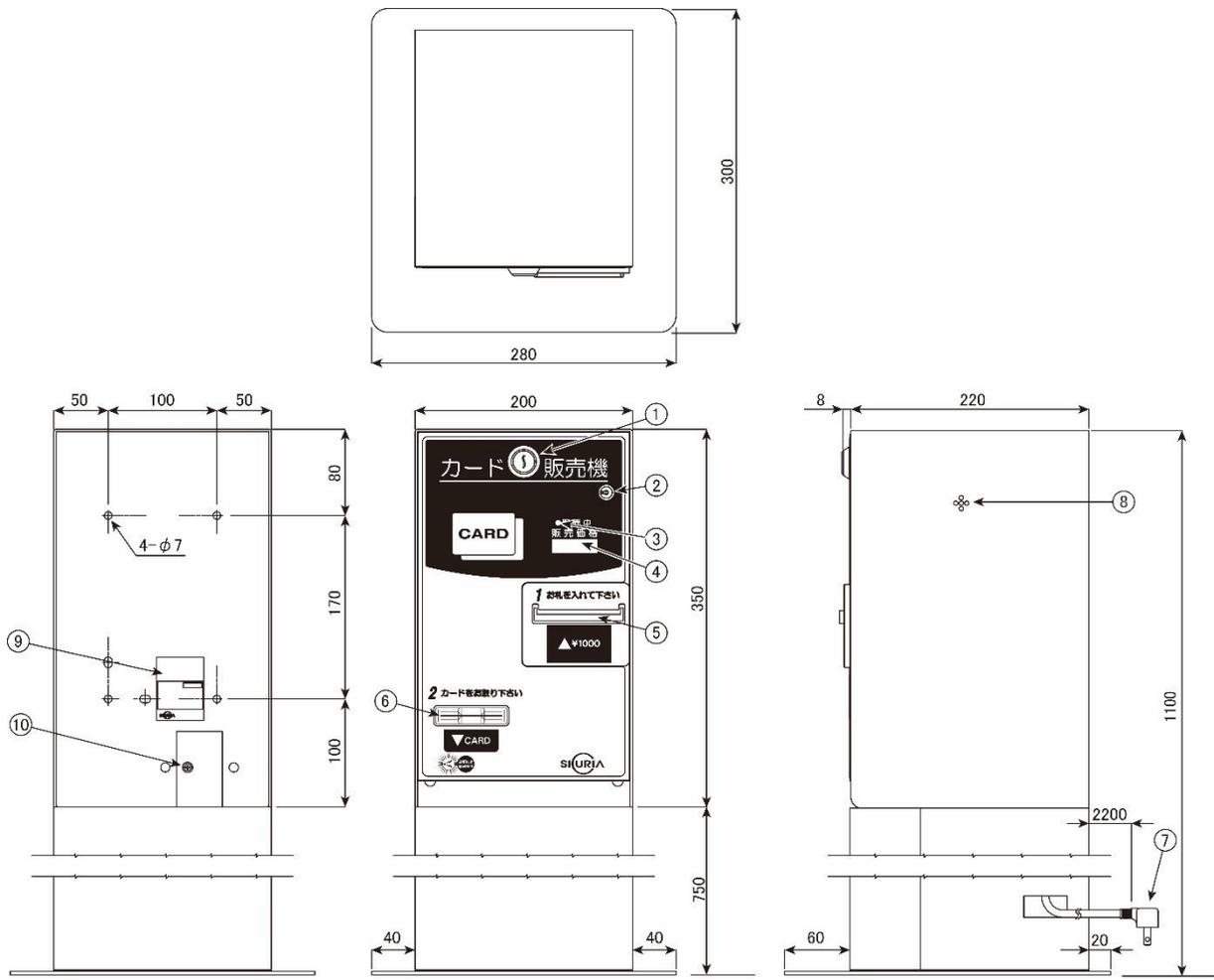
※1 専用プリンター、および本体と接続する為の専用ケーブルは別売りとなります。

3 ブロック図および各部の名称とその機能

3-1 ブロック図

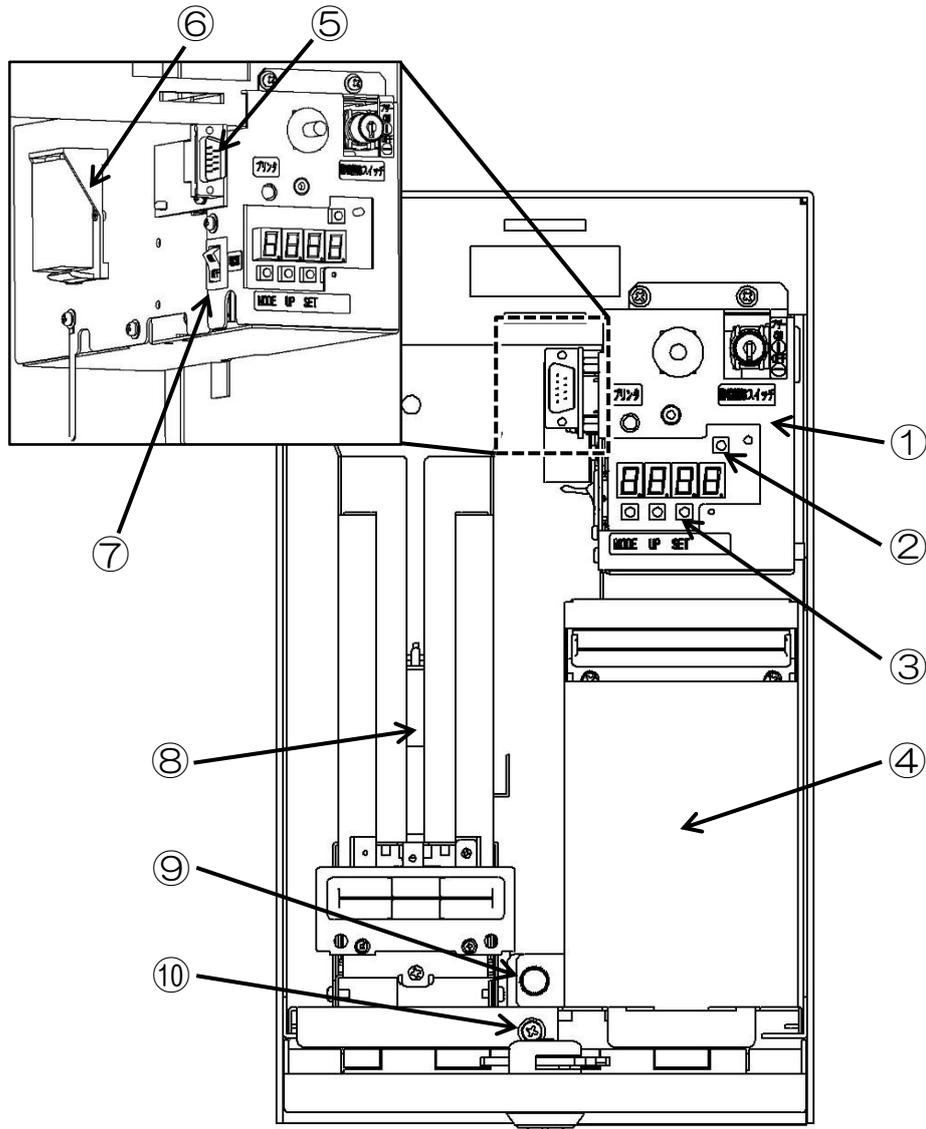


3-2 全体図



	名称	機能
①	扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。
②	警報ブザー設定スイッチ	警報ブザーをON/OFFするスイッチです。
③	販売中ランプ	カードの販売が可能な状態の場合、点灯します。
④	4桁数値表示器	設定された販売金額、エラーなどを表示します。 メンテナンスモードでは、各種設定値を表示します。
⑤	紙幣挿入口	1000円紙幣を裏表4方向で挿入できます。
⑥	カード取り出し口	販売されたカードが出てきます。
⑦	電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V用)
⑧	警報ブザー発振孔	警報ブザーの発振音孔です。
⑨	定格銘板	製品の型式、製造No、電気定格などを記載しています。
⑩	アース端子	アース線の接続部です。

3-3 内部機構図



	名称	機能
①	コントロールボックス	本機のコントロールを行います。
②	バッテリーチェックスイッチ	警報ブザー用電池をチェックします。
③	選択スイッチ	各種設定時に使用します。
④	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。 紙幣識別機カバーで覆ってあります。
⑤	プリンター用コネクタ	プリンターを接続します。
⑥	電池ボックス	警報ブザーを鳴らす為の電池を取り付けます。 図では警報ブザー用電池を取り付けてあります。
⑦	電源スイッチ	本機の電源を入/切します。
⑧	カード払い出し機	カードを収納し、払い出しを行います。
⑨	紙幣識別機カバー固定ネジ	紙幣識別機カバーを固定するためのネジです。
⑩	内部シャーシ固定ネジ	内部シャーシを固定します。

4 付属品と設置の方法

4-1 付属品

製品を開梱し、次の付属品が同封されていることを確認してください。

本体付属品

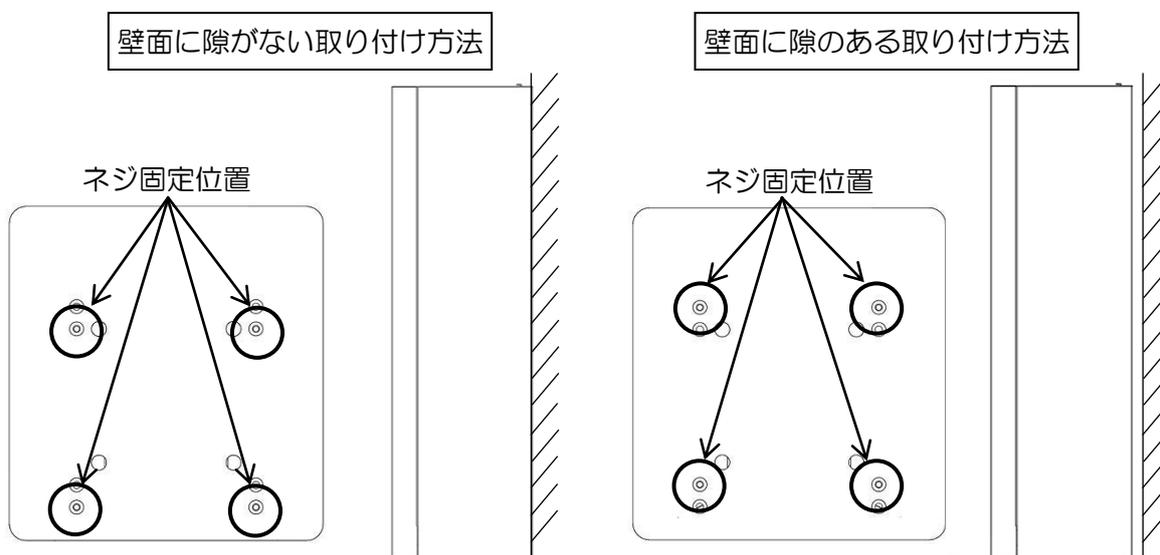
- ・ 扉錠用鍵 ×2
- ・ 警報ブザー解除鍵 ×2
- ・ カード押さえ用ウエイト ×1
- ・ 前面パネルシール ×1
- ・ 警報ブザー用電池 ×1
- ・ 本体固定用ネジ(M6×30+-六角フランジタッピング) ×4

取り付け台付属品

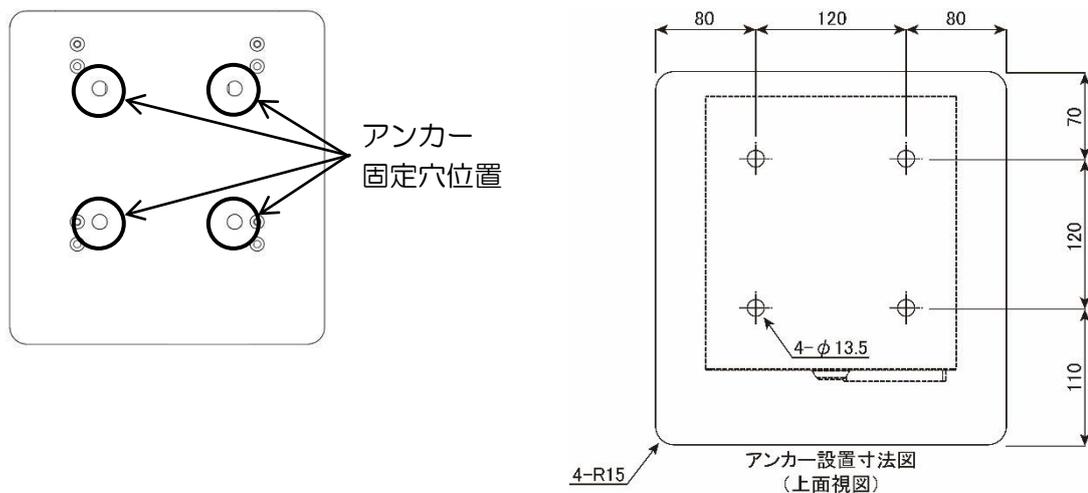
- ・ 本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット) ×4
- ・ 台座取り付け用ネジ(M6×10 皿) ×4
- ・ アンカーボルト(M10×60 C-1060) ×4

4-2 架台の設置方法

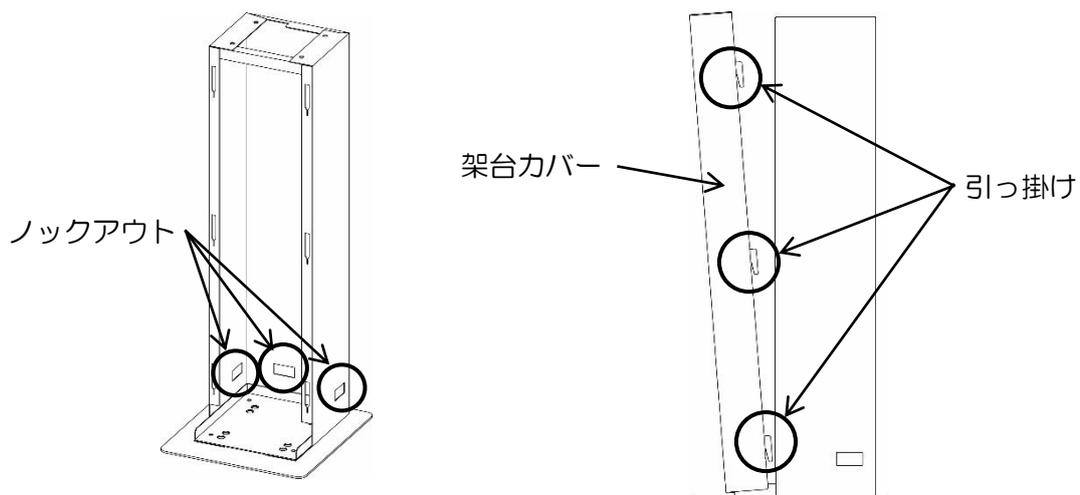
- ① 架台本体に付属のネジ(M6×10 皿)で台座を取り付けます。
2種類の取り付け方法があります。



② 台座を底面にし、付属のアンカーボルト (M10×60 C-1060) で架台を固定します。



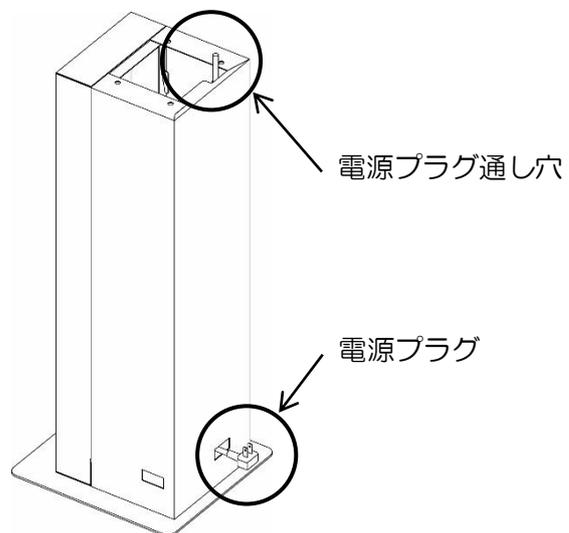
③ 電源プラグを通すロックアウト(3ヶ所)を抜き、架台カバーの引っ掛けを下部から合わせながら差し込み、固定します。
 ロックアウトの抜き場所は、設置場所に応じて変更してください。



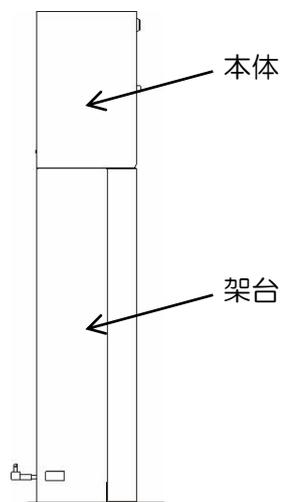
4-3 本体の設置方法

※ 本体のみ設置する場合は、「③」以降を参照してください。

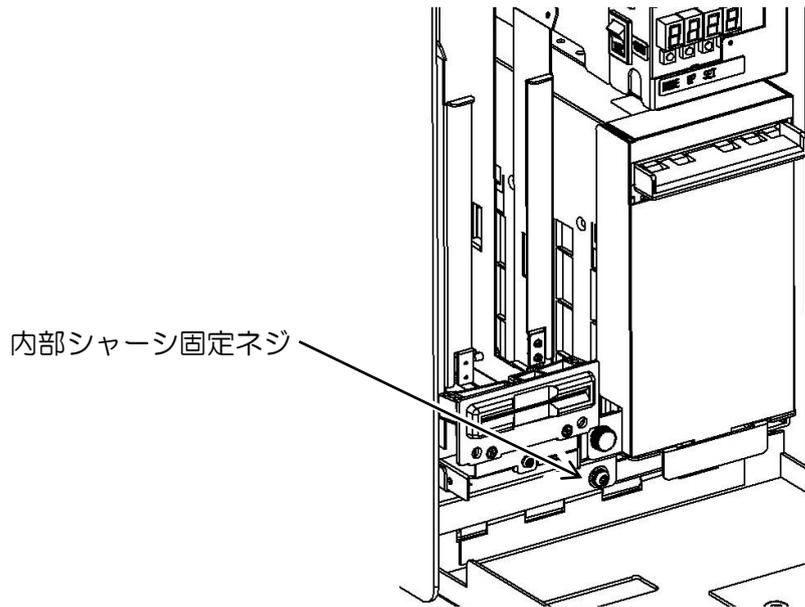
- ① 本体の電源プラグを架台上部から内部へ通し、ロックアウト開口部へ通しておきます。



- ② 架台に本体を載せます。



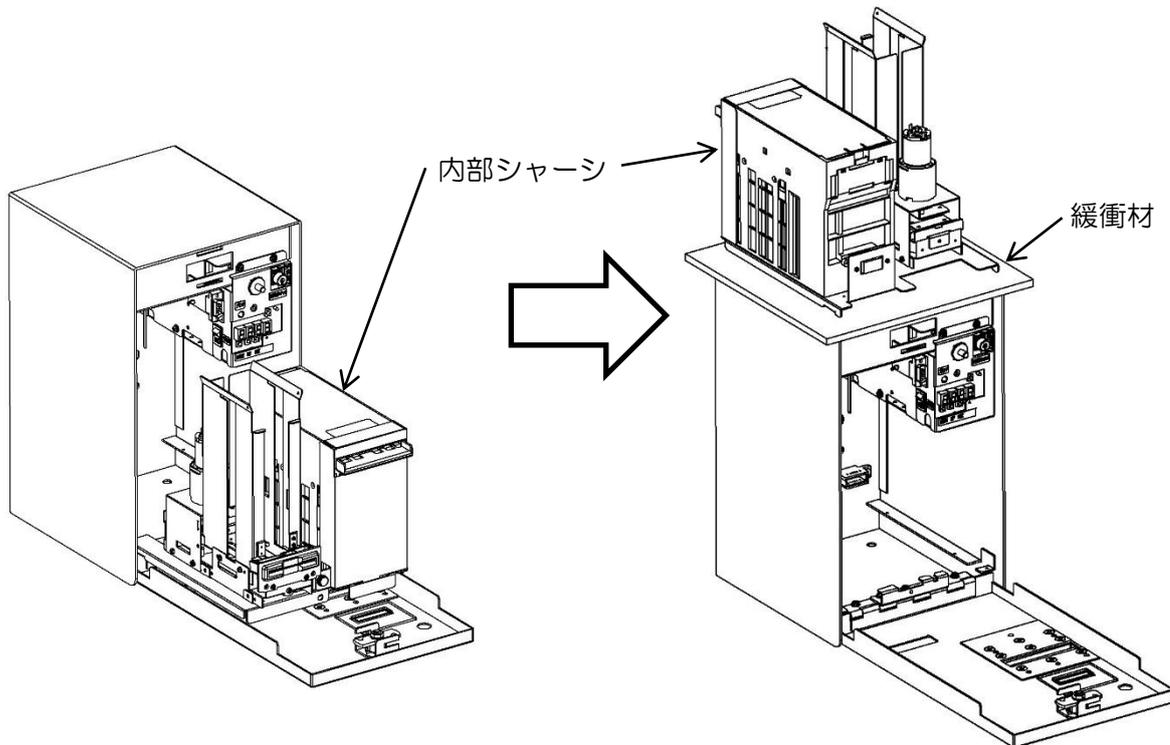
③ 前面扉を開き、内部シャーシ固定ネジを外します。



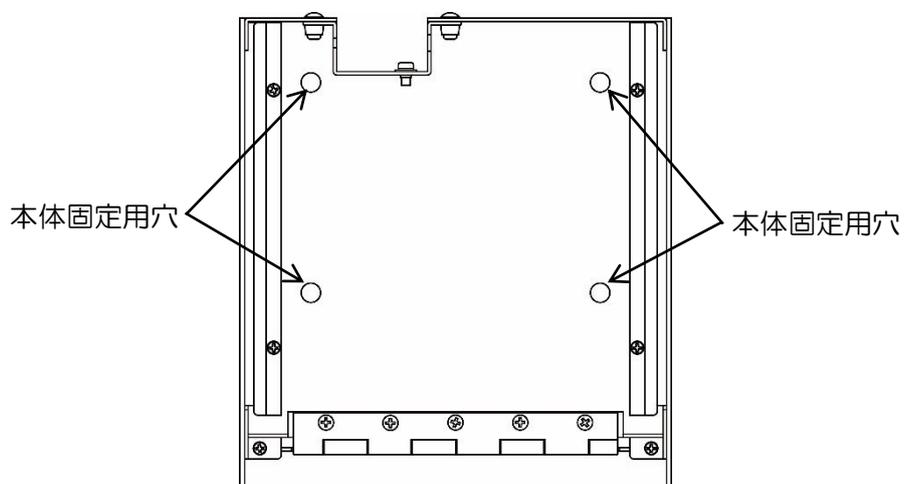
④ 内部シャーシを引き出し、本体上部へ置きます。

※ ハーネスが抜ける恐れがありますので、強く引っ張らないでください。

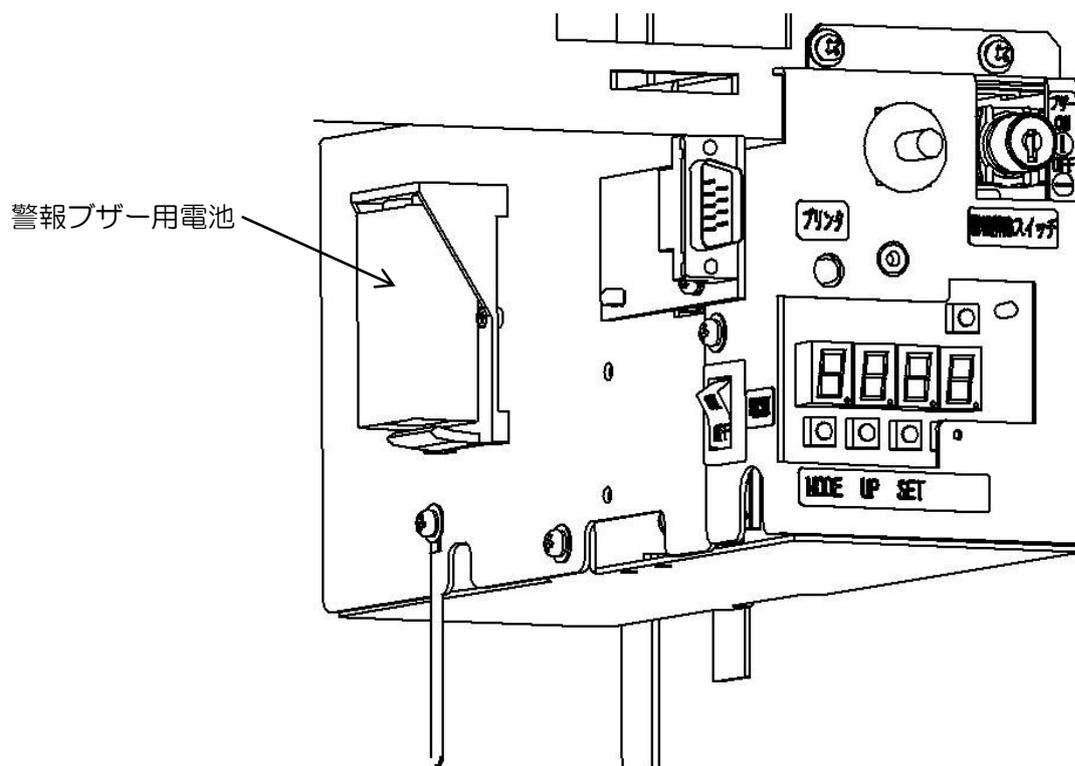
※ 本体上部に置く際は本体上部に傷が付く恐れがありますので、緩衝材を敷いてください。また、落下しないよう十分お気をつけください。



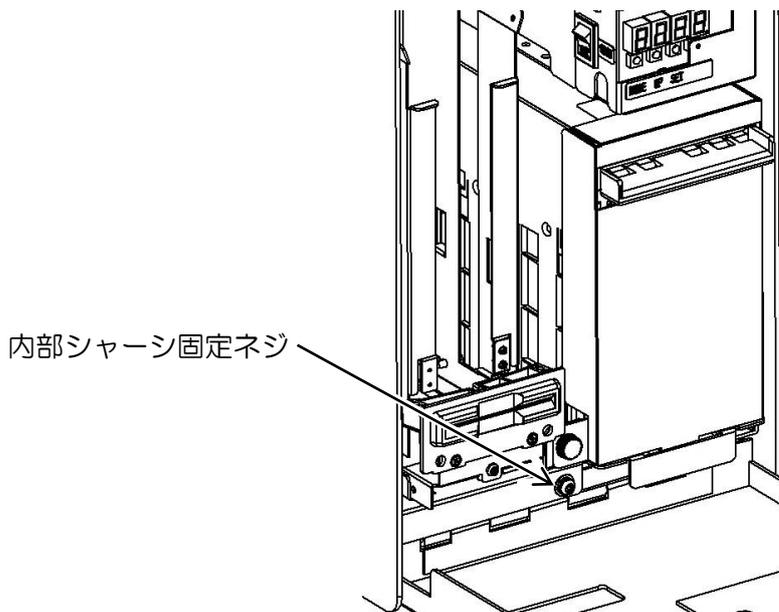
- ⑤ 本体固定用穴に、付属の本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット)で4ヶ所固定します。
また、本体のみ設置する場合は、本体固定用ネジ(M6×30+-六角フランジタッピング)を使用してください。



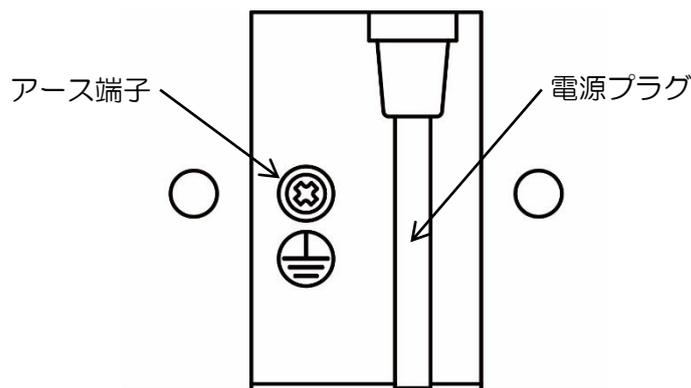
- ⑥ コントロールボックス左後方の電池ボックスに警報ブザー用電池を取り付けます。



⑦ 内部シャーシを戻し、内部シャーシ固定ネジを止めます。



⑧ 本体の背面下部にあるアース端子にアース線を接続し、前面扉を閉めて完了です。



※ アース線は必ず接続してください。

※ 電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※ アース(接地)工事は D 種(第 3 種)設置工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。

※ アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

4-4 盗難および転倒防止

本体背面に壁面固定穴：φ7mm 4ヶ所を準備しています。

より安全に運営していただくために、背面の固定を行なってください。

5 設置後の操作

5-1 初期設定

本機を設置直後に電源を投入すると、出荷状態の[CL]点滅表示になっています。
下記の操作を必ず行ってください。



① メンテナンスモード設定

「5-3 メンテナンスモード」を参照して、下記の3項目を設定してください。

- 時計設定
- 販売金額設定
- 機械No.設定

※ 上記以外の項目は、必要に応じて変更、確認を行ってください。

② 期間データ更新

「5-2 販売モード」を参照して「期間データ更新」を行ってください。

期間データの更新が完了すると、販売金額表示になります。



これで、初期設定は完了です。

5-2 販売モード

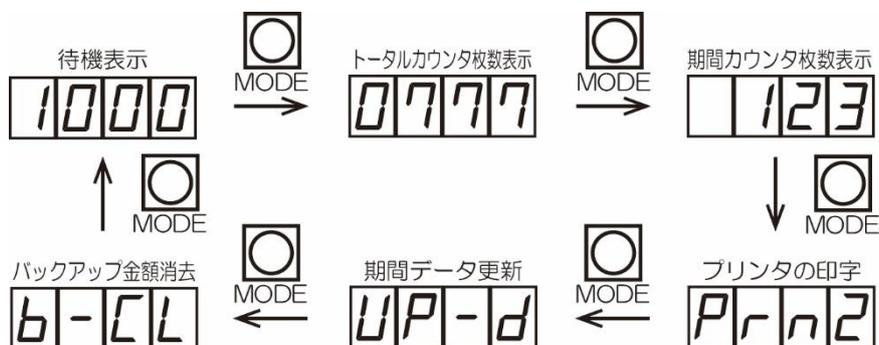
5-2-1 販売モード一覧

表示	モード名	機能
	トータルカウンタ 枚数表示	トータルのカード販売枚数を表示します。 (リセットなし 4桁表示)
	期間カウンタ 枚数表示	期間内のカード販売枚数を表示します。 (リセットあり 3桁表示)
	売上明細書発行	販売枚数や販売金額などの印字を行います。
	期間データ更新	初期設定および、期間データの更新を行います。
	バックアップ金額 消去	停電時の残金額表示をクリアします。 バックアップ設定 OFF のときは、表示されません。

5-2-2 販売モード内の流れ

販売モードは、待機状態で MODE スイッチを押すことで切り替わります。

※ 販売モードでは、10 秒以上操作を行わなければ販売待機に戻ります。



① 待機表示

通常の販売動作を行います。初期設定が完了している場合は販売金額を表示します。

② トータルカウンタ枚数表示

トータル販売枚数を確認します。

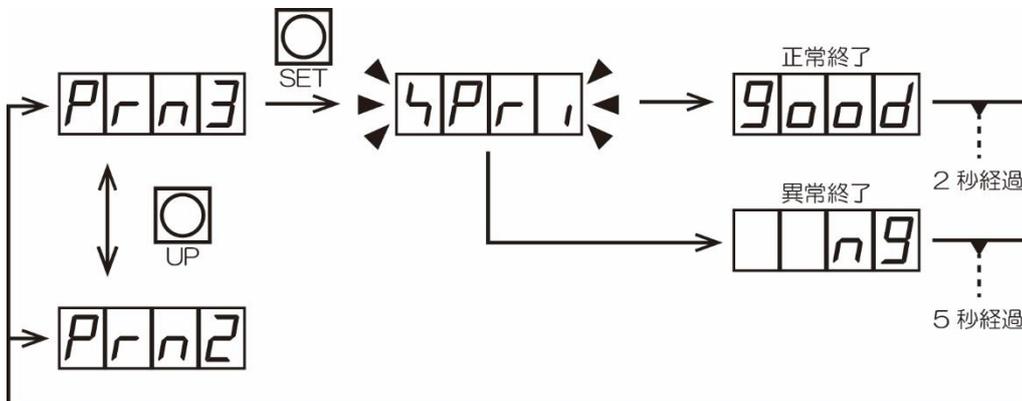
4桁で表示し、リセットは行えません。

③ 期間カウンタ枚数表示

期間データを更新してからの販売枚数を確認します。

3桁で表示し、期間データ更新でリセットされます。

- ④ 売上明細書発行
カードの売上明細を印字します。



- ※ 表示については下記の通りになります。
- [Prn3] : Printy3、NewPrinty プリンター対応
 - [Prn2] : Printy2 プリンター対応

• 印字内容

カード 売上明細書	
販売期間	20xx年xx月xx日xx時xx分 から 20xx年xx月xx日xx時xx分 まで
伝票No.	xxx
機械No.	xxx (xxxx)
前回カウント値	xxx
今回カウント値	xxx
販売枚数	xxx 枚
販売単価	x,xxx 円
販売金額	xxx,xxx 円
¥1000枚数	xxx 枚
お客様確認サイン	
オペレータ確認サイン	

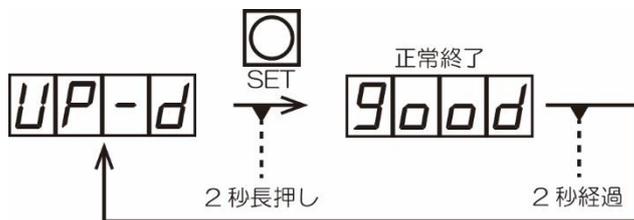
• 項目説明

販売期間	期間データを更新した日付から現在の日付
伝票No.	期間データを更新した回数
機械No.	設定されている機械No. ()内は 10進数表記
前回カウント値	期間データを更新した時の販売回数※1
今回カウント値	稼働を開始してからの販売回数※1
販売枚数	期間データを更新してからの販売枚数
販売単価	設定されている販売金額
販売金額	販売枚数と販売単価で計算した合計販売金額
¥1000枚数	期間データを更新してからの紙幣枚数

※1 初期化は行えません。

⑤ 期間データ更新

各期間カウンタをクリアし、伝票No.を 1 加算します。

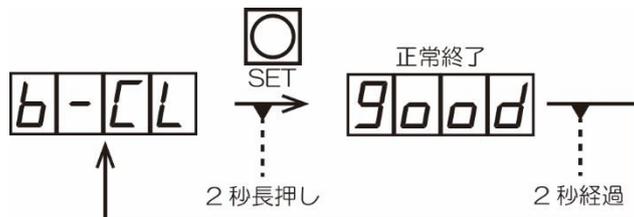


⑥ バックアップ金額消去

購入途中で停電が発生した場合、バックアップされた残金額を消去します。

販売金額が 2000 円でバックアップされた残金が 1000 円の場合、残金の 1000 円を消去して、販売金額の 2000 円の表示に戻します。

バックアップ設定が「OFF」の場合、この項目は表示されません。



5-3 メンテナンスモード

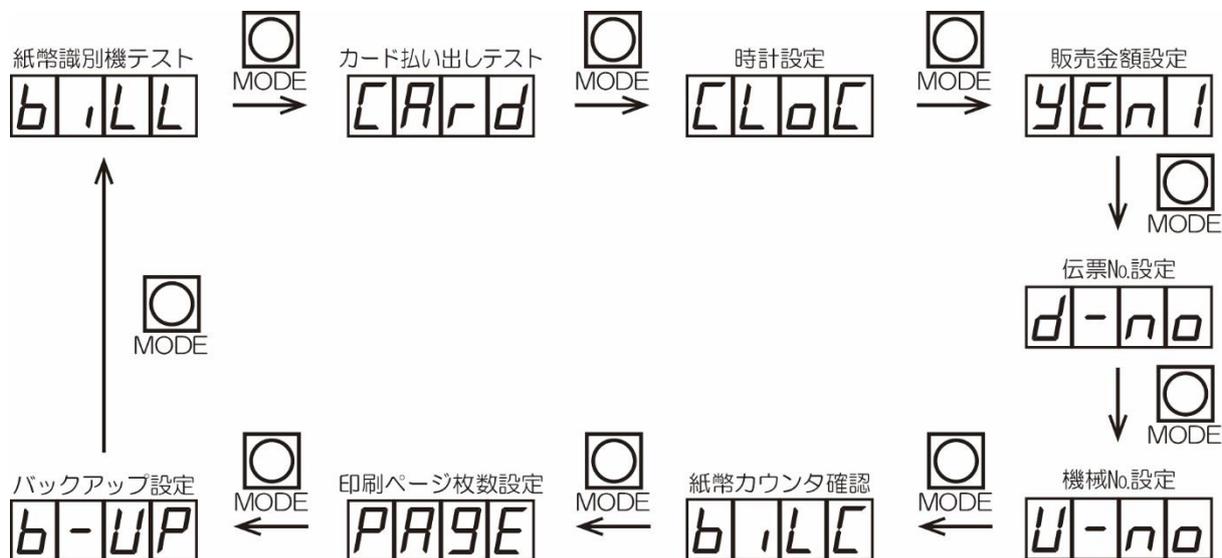
5-3-1 メンテナンスモード一覧

表示	モード名	機能
bilL	紙幣識別機テスト	紙幣の読み込みテストを行います。
Card	カード払い出しテスト	カード払い出しのテストを行います。
CLoC	時計設定	年月日、時間を設定します。
YE n I	販売金額設定	販売金額を設定します。
d - n o	伝票No.設定	伝票No.を設定します。
U - n o	機械No.設定	機械No.を設定します。
bilC	紙幣カウンタ確認	紙幣挿入枚数のトータルカウンタ、 期間カウンタを表示します。
PAGE	印刷ページ枚数設定	売上明細書を印字する枚数の設定をします。
b - UP	バックアップ設定	購入途中での停電時、挿入金額のバックアップ の有無を設定します。

5-3-2 メンテナンスモードの流れ

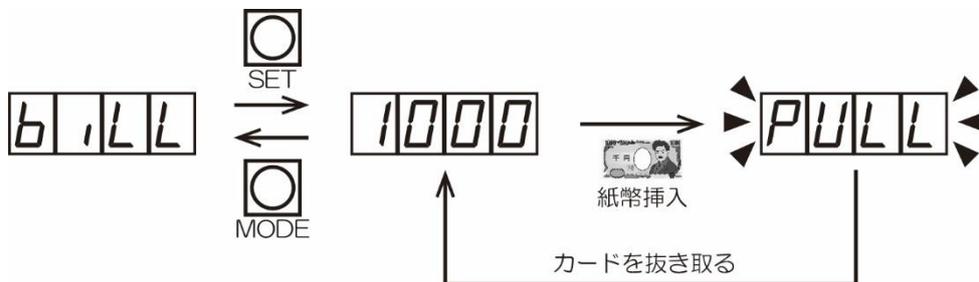
メンテナンスモードは、各種テストや各機能設定を行います。

MODE スイッチを押しながら電源スイッチを「ON」にするとメンテナンスモードになります。MODE スイッチはバージョン表示が消えるまで押し続けてください。



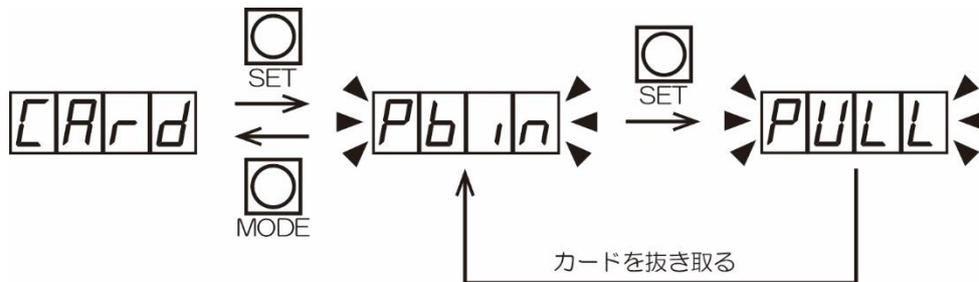
① 紙幣識別機テスト

紙幣識別機の動作確認を行います。



② カード払い出しテスト

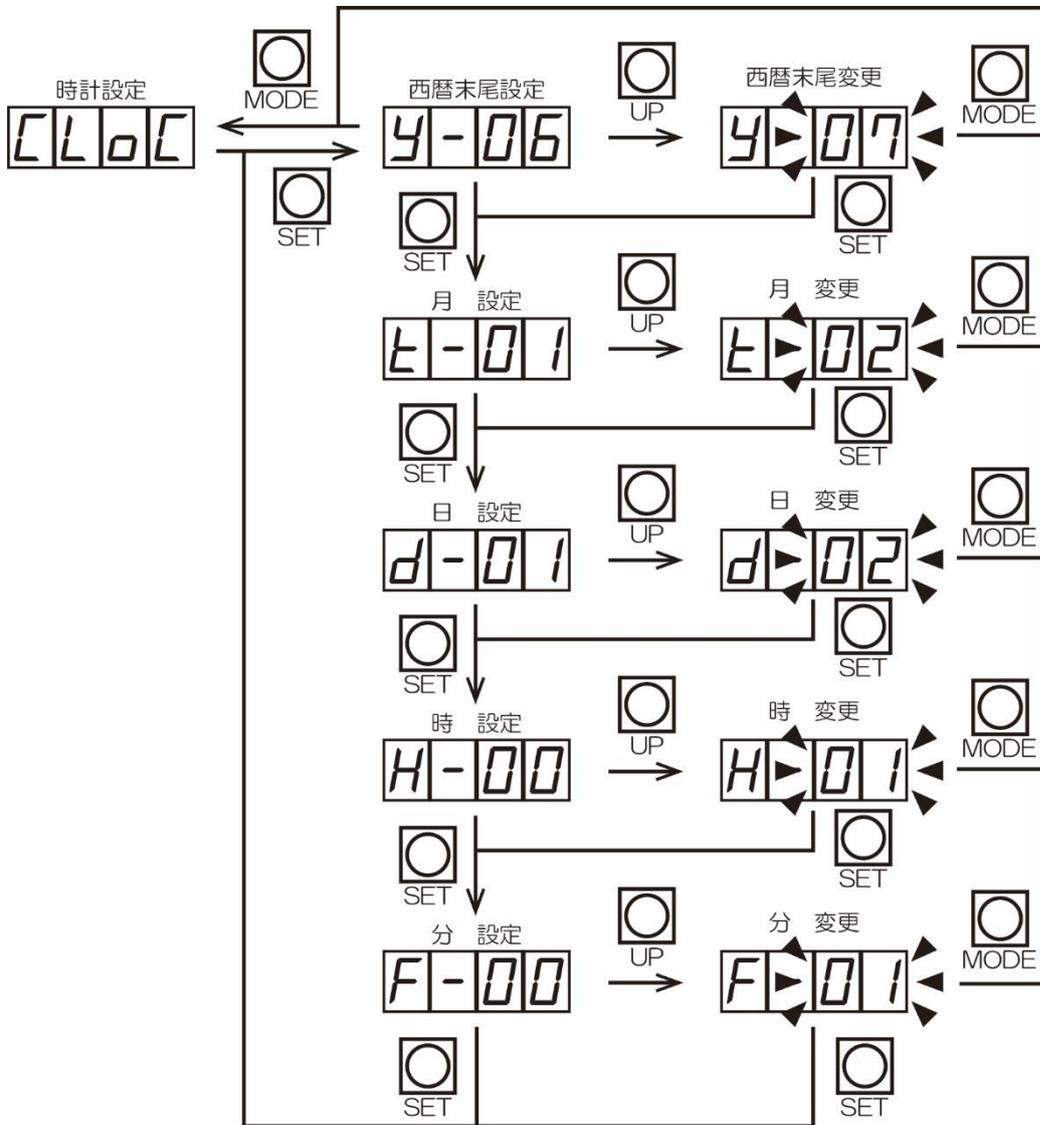
カード払い出し機の動作確認を行います。



③ 時計設定

年月日と現在時刻の設定を行います。

※ 初期値：06年01月01日00分00秒

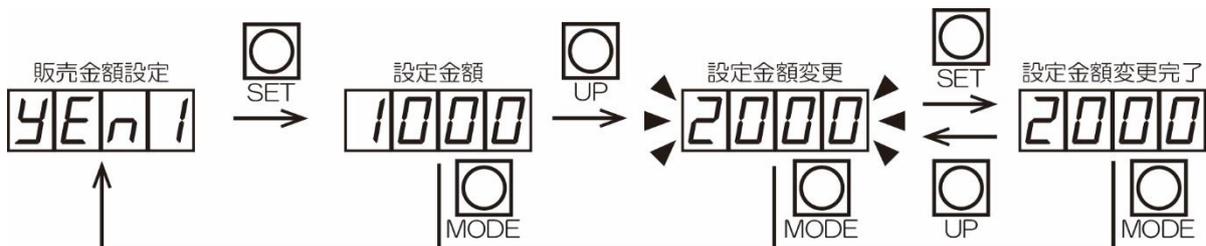


「年/月/日/時/分」の数字設定は、UP スイッチで変更します。

④ 販売金額設定

販売金額の設定を行います。

※ 初期値：1000円 範囲：1000～5000円



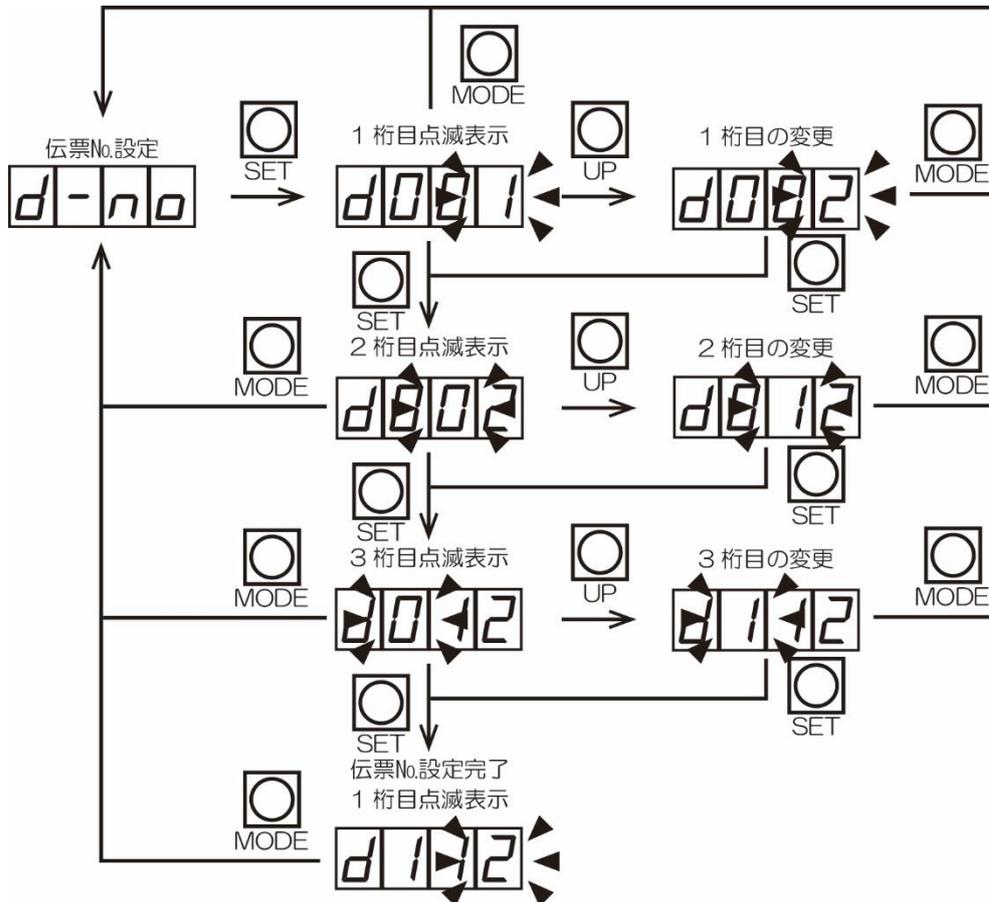
⑤ 伝票No.設定

伝票No.の設定を行います。

初期値の0が設定されているのは出荷時のみです。

期間データを更新するごとにカウントアップします。

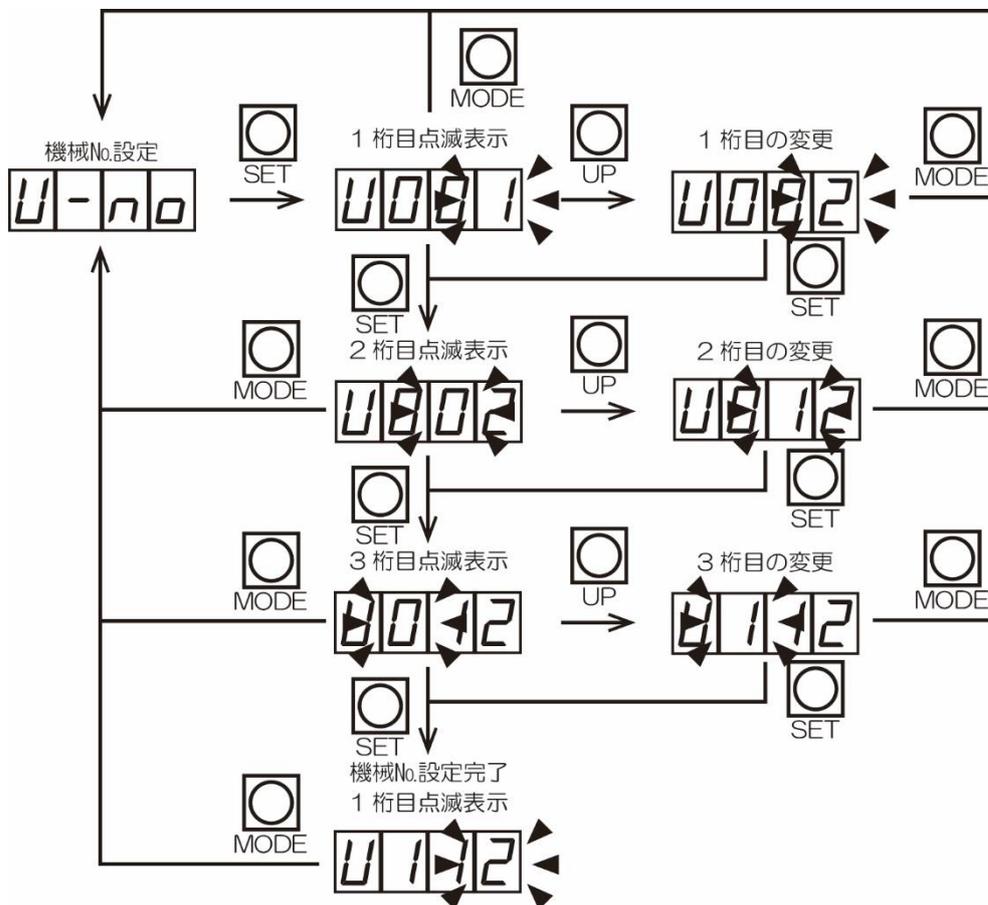
※ 初期値：0 範囲：1～999



⑥ 機械No.設定

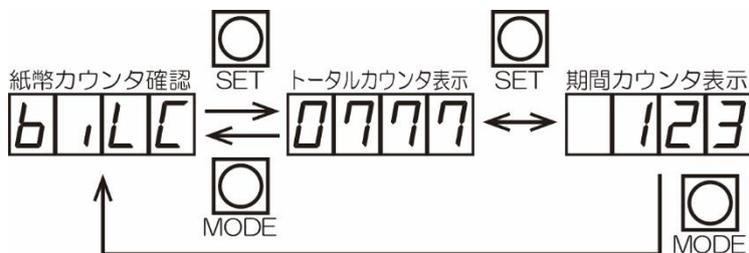
機械No.を 16 進数で設定を行います。

※ 初期値：001 範囲：001~FFF(4095)



⑦ 紙幣カウンタ確認

紙幣識別機のトータルカウンタ、期間カウンタの確認を行います。



※ トータルカウンタ表示は 4 桁、期間カウンタ表示は 3 桁で表示します。

トータルカウンタの範囲：0000~9999

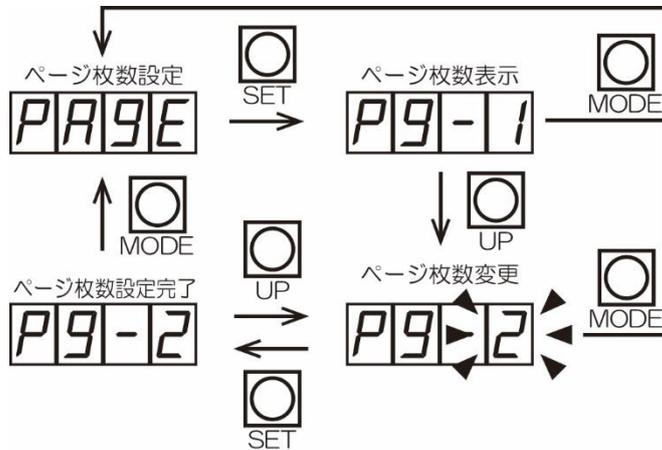
期間カウンタの範囲：0~999

各カウンタは、上限範囲を超えると「0」になり、以降カウントを行います。

⑧ ページ枚数設定

カード売上明細書の発行枚数の設定を行います。

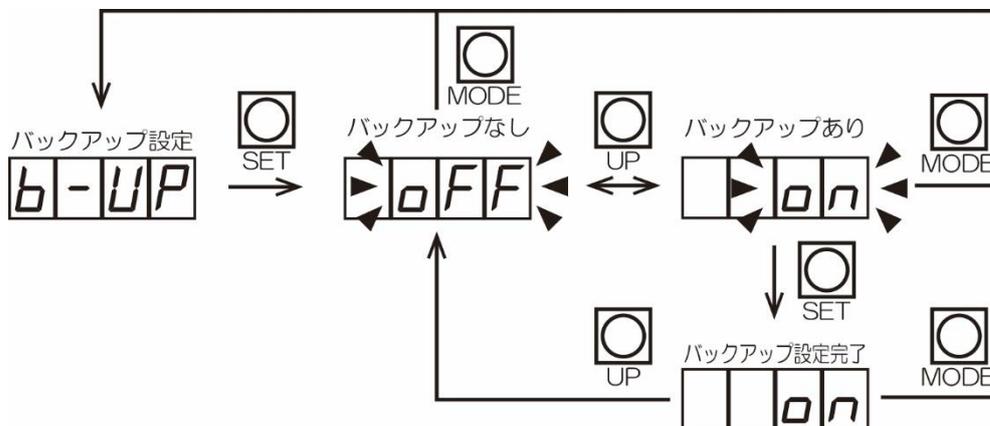
※初期値：1枚 範囲：1枚～2枚



⑨ バックアップ設定

購入中に停電が発生し、電源が再復帰した場合の購入途中金額に復帰、または購入途中の金額を消去する設定を行います。

※初期値：OFF(購入途中の金額を消去)

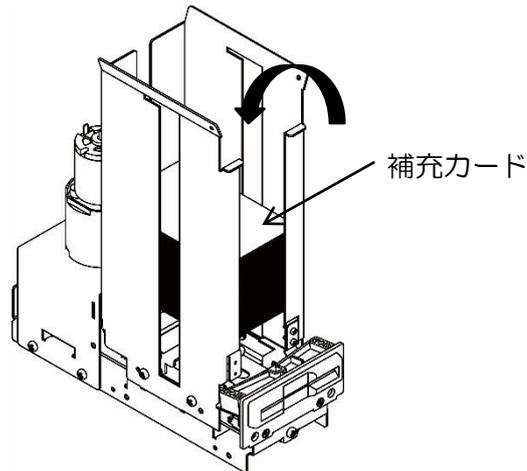


5-4 販売するカードの補充

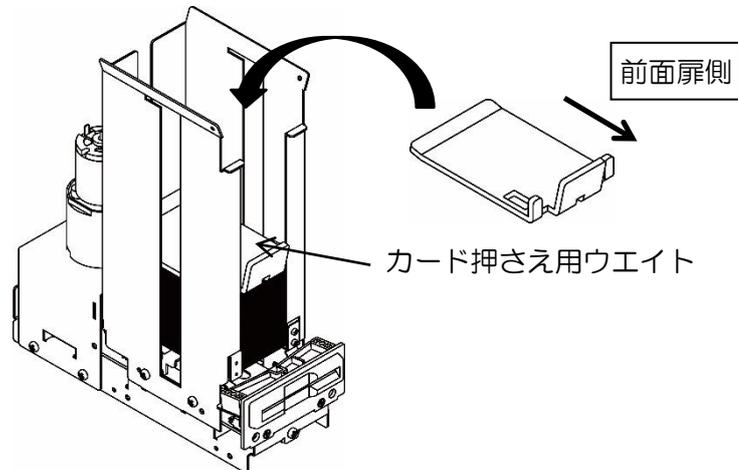
警報ブザー設定スイッチで警報ブザーを解除し、前面扉を開け、電源スイッチを「OFF」の状態にしてください。

以下に説明する手順でカードを補充してください。

- ① 補充するカードを、カード払い出し機に入れます。



- ② 付属のカード押さえ用ウエイトを、補充したカードの最上部に載せます。



- ③ 電源を「ON」にし、販売金額表示になる事を確認してください。
収納が確実ではない場合は、エラー表示になります。

• 正常に補充できた場合



販売金額表示

• 正常に補充できていない場合

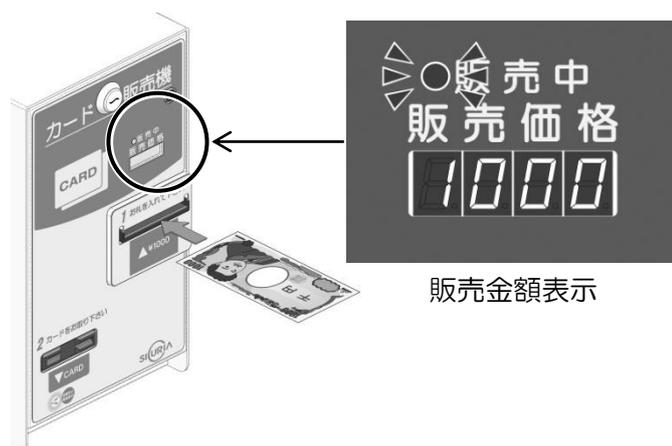


エラー表示

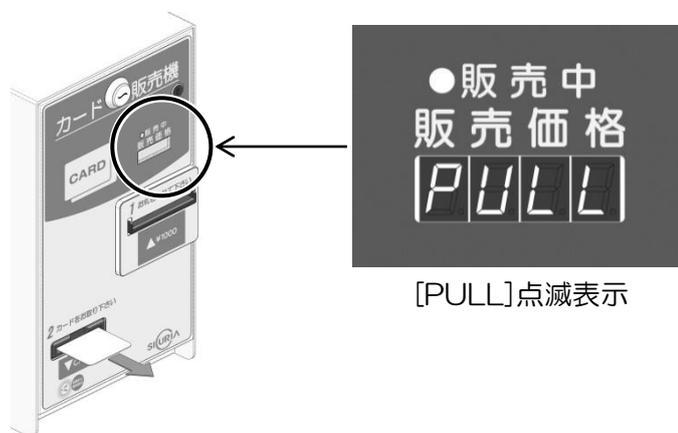
6 カード販売操作

(例) 設定金額 1000 円での購入した場合

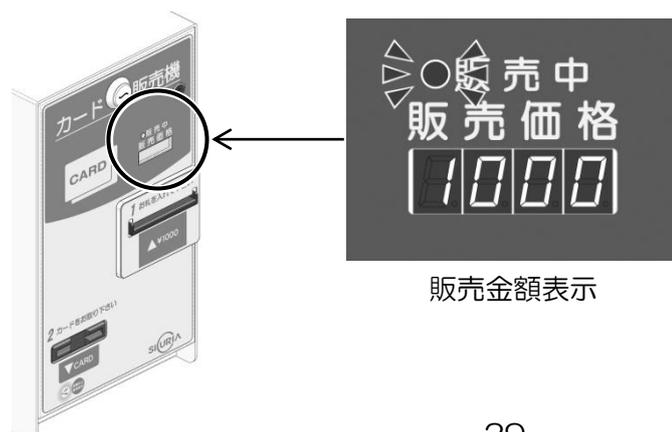
- ① 販売中ランプが点灯し、販売金額表示になっている事を確認してから 1000 円紙幣を挿入します。



- ② カード取り出し口からカードが排出されます。
カードを抜き取るまで、[PULL]点滅表示を維持します。



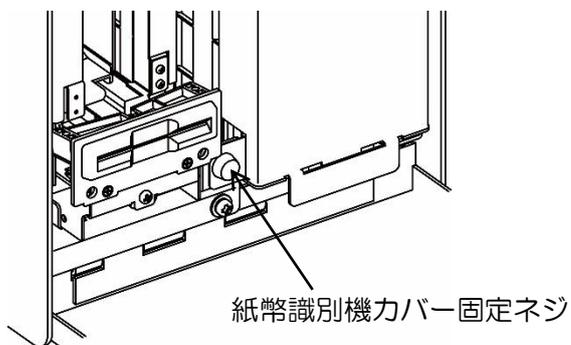
- ③ カードを抜き取ると、販売中ランプが点灯し、販売金額表示に戻ります。



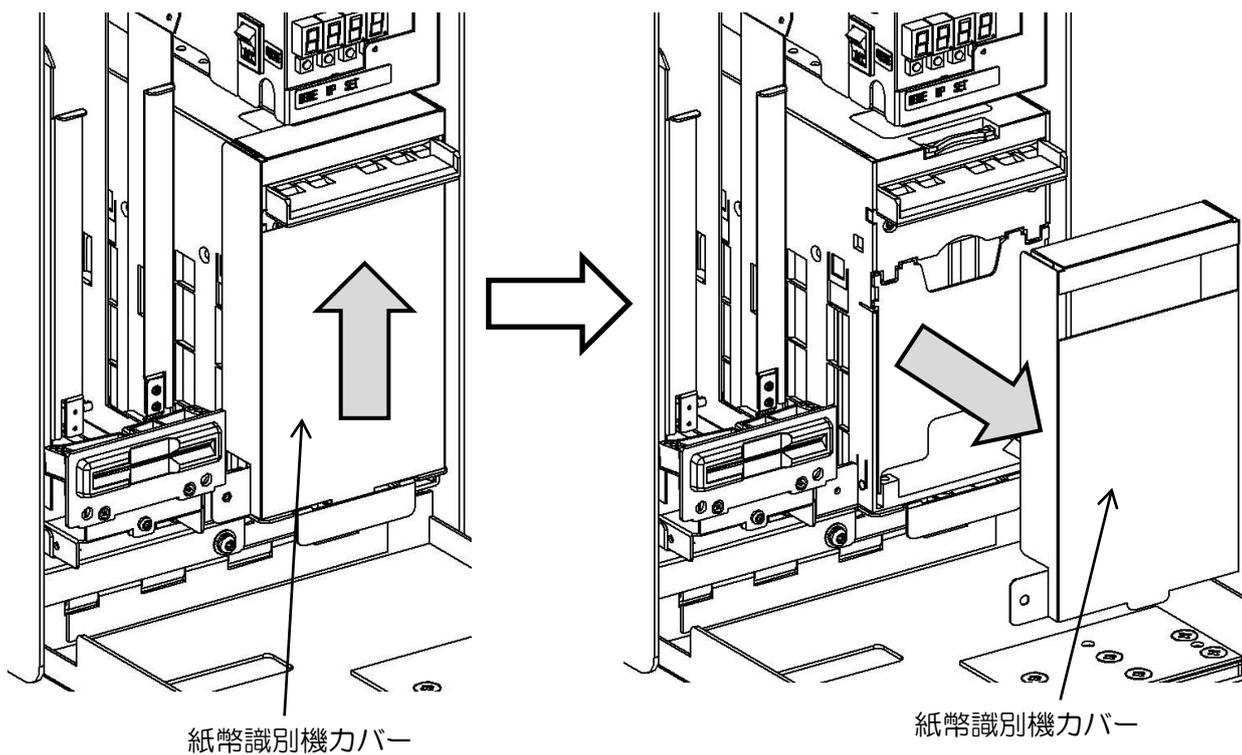
7 紙幣識別機カバーの使用方法

7-1 紙幣識別機カバーの取り外し

- ① 紙幣識別機カバー固定ネジを外します。

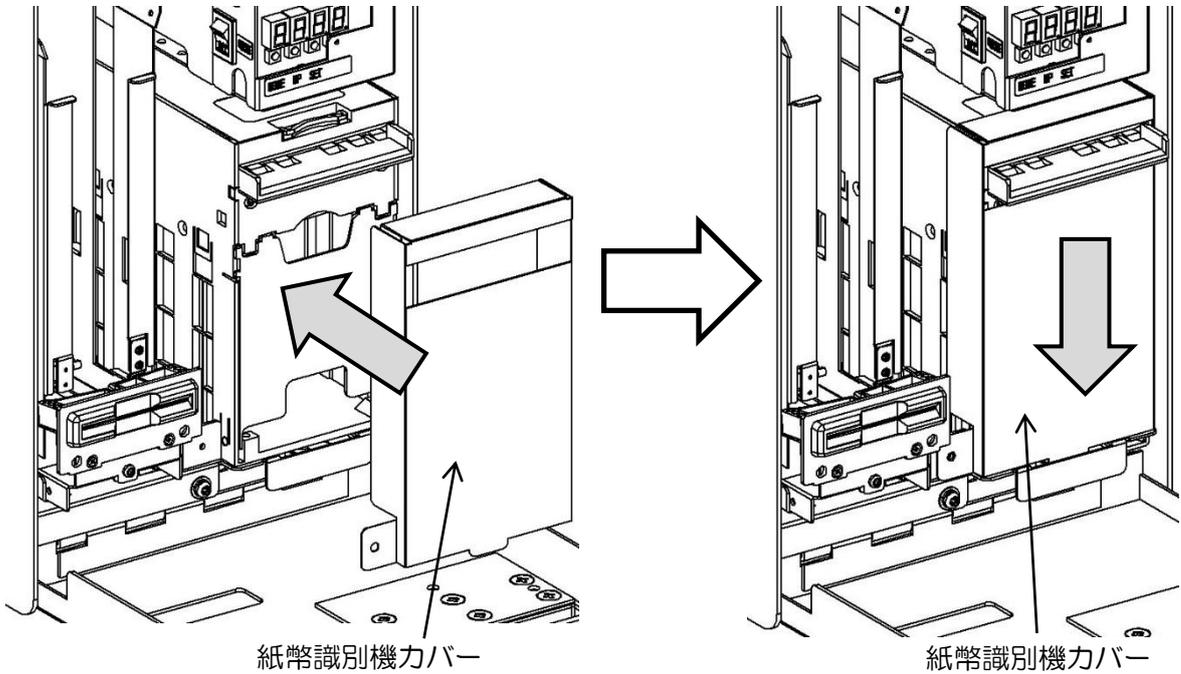


- ② 紙幣識別機カバーを上部に持ち上げ、手前に引いて外します。

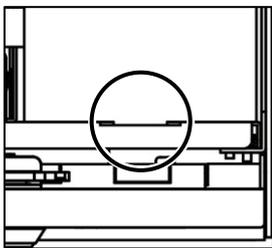


7-2 紙幣識別機カバーの取り付け

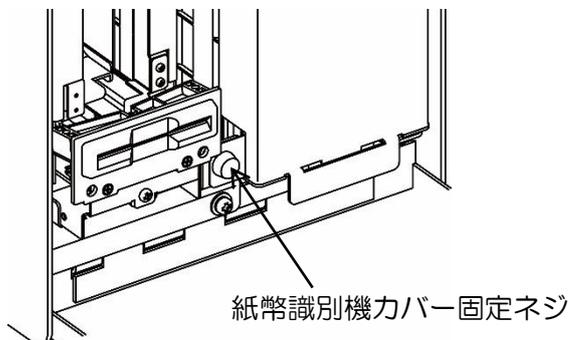
- ① 紙幣識別機カバーを紙幣識別機の前面に取り付け、下におろして固定します。



※ 紙幣識別機カバーの丸部分を確実に差し込んでください。



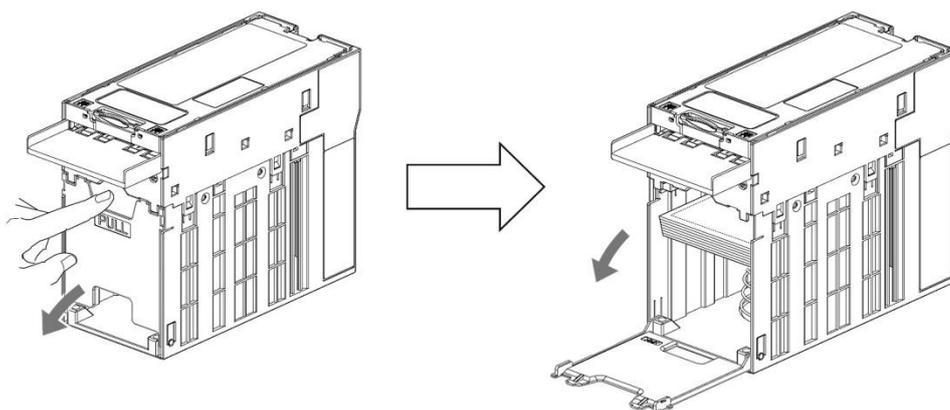
- ② 紙幣識別機カバー固定ネジを取り付け、完了です。



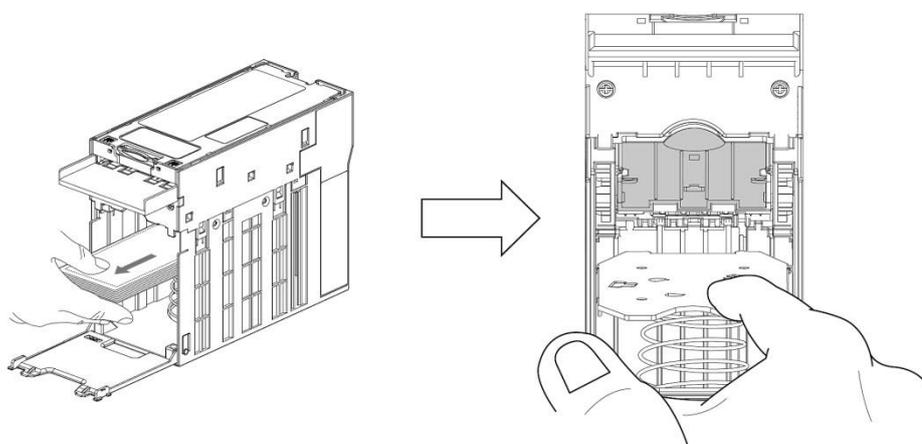
8 紙幣の回収方法

「7 紙幣識別機カバーの使用方法」を参照し、紙幣識別機カバーの取り外し、紙幣回収後は取り付けを行ってください。

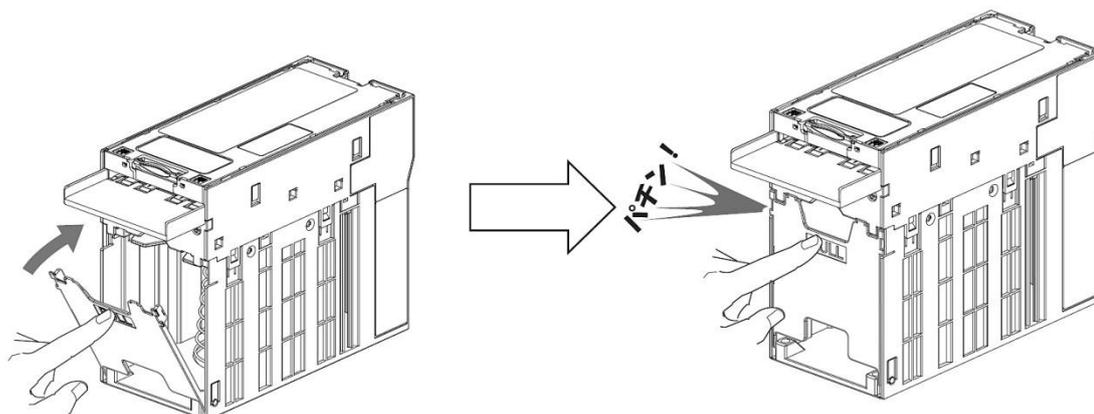
- ① 紙幣識別機の扉を、手前に倒して開きます。



- ② 収納された紙幣を回収します。その際にプレートを指で下げ、紙幣通路部に紙幣や異物が詰まっている場合は取り除いてください。



- ③ 紙幣識別機の扉を、「パチン」と音がするまで確実に閉じます。



9 日常のお手入れ

9-1 紙幣識別機の清掃

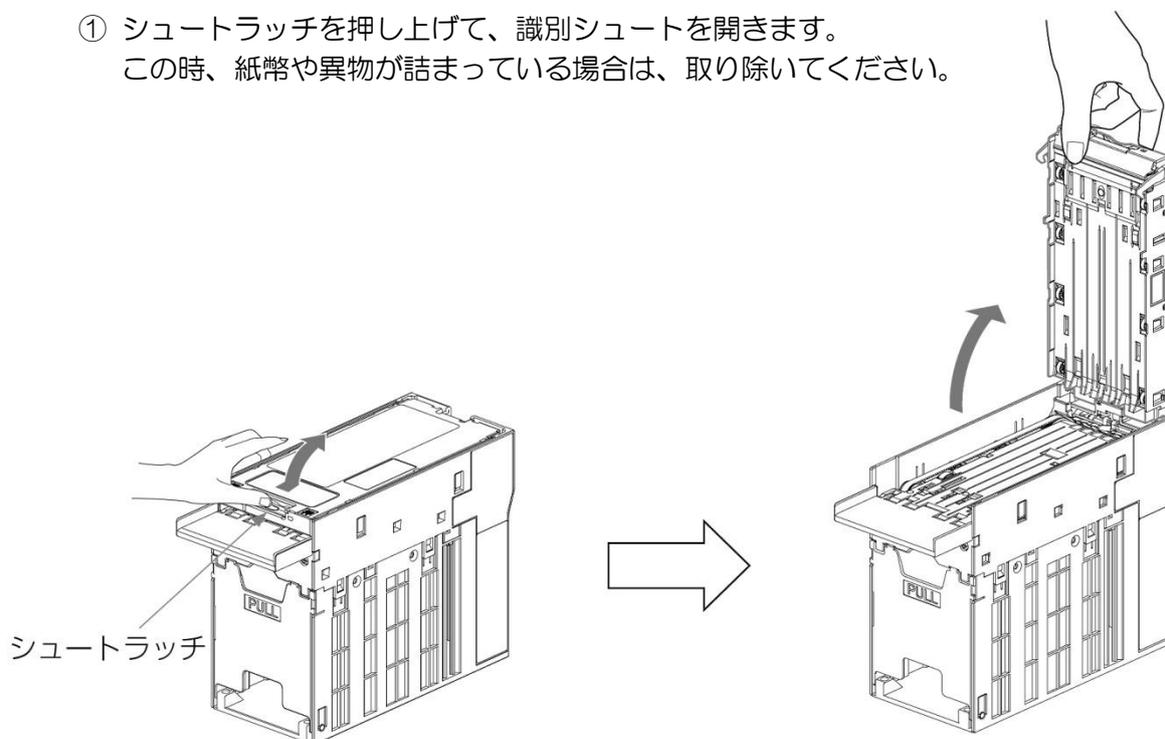
紙幣識別機は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると、紙幣の受入率低下、札詰まりなどの異常が発生し、性能が維持できなくなります。性能を長く維持するために、1～3ヶ月に1度定期的に清掃してください。

【注意】

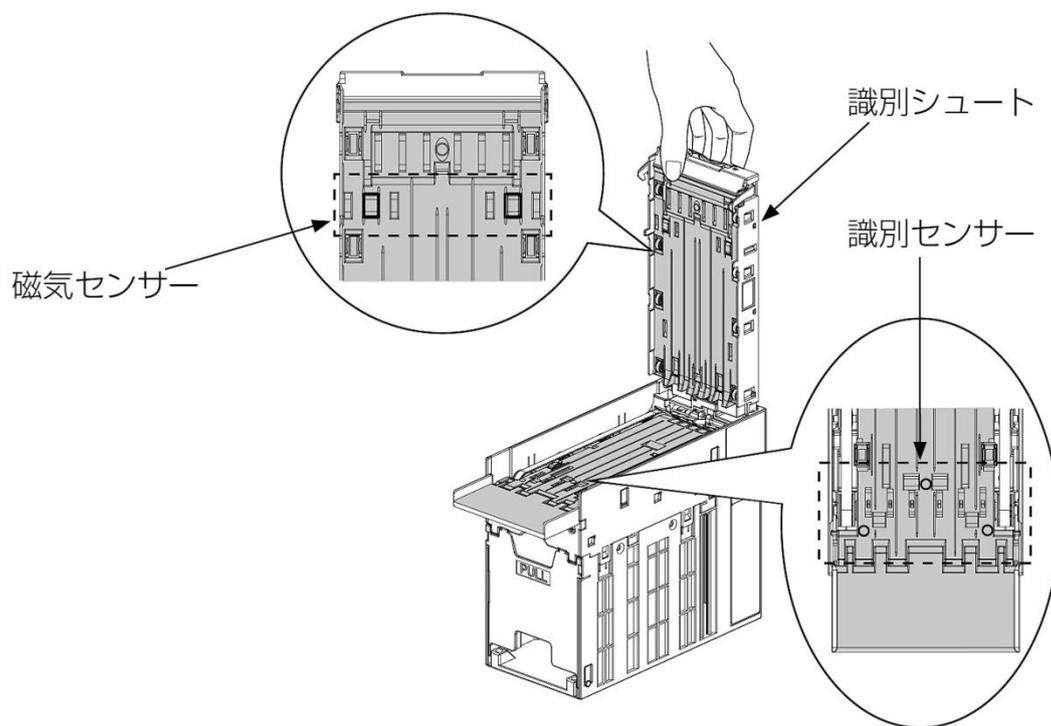
- 日常のお手入れが終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してください。確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。
- 必ず電源が切断されていることを確認してください。
- 識別シュート、リアシュート、フロントドアを開けた時、雨水や異物が入らないように注意してください。
- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- 識別センサーは発光部と受光部が対になっていますので、必ず両方清掃してください。
- 乾拭きで汚れが取りにくい時は、柔らかい布や綿棒などに無水エタノールを含ませてください。
- 搬送ベルトの清掃には、無水エタノールは絶対に使用せず、必ず柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- 酸性、アルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。

9-1-1 札通路部の清掃

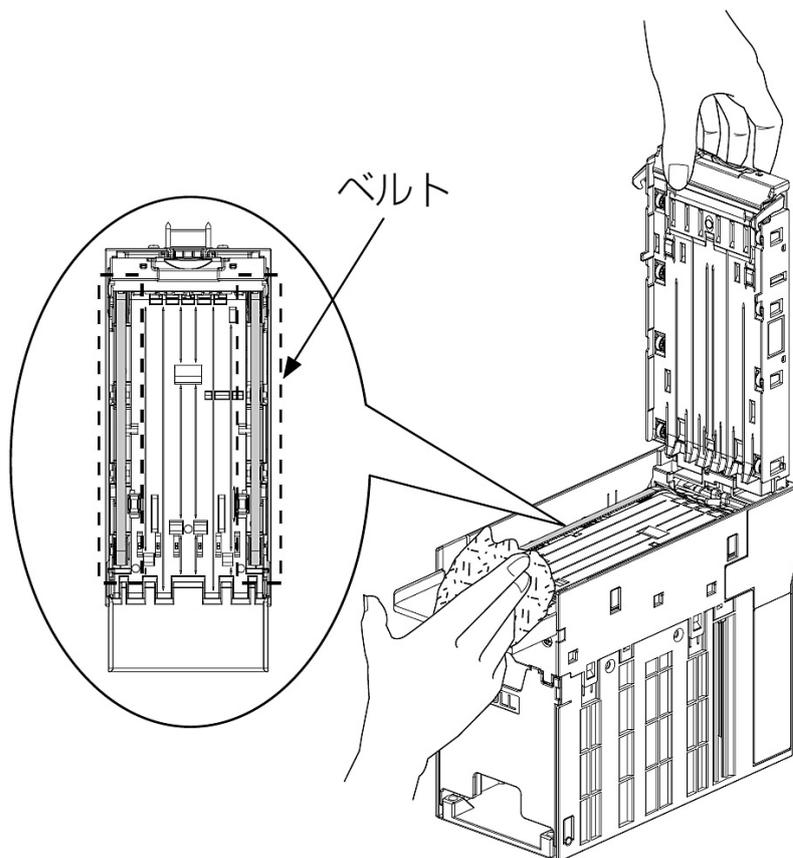
- ① シュートラッチを押し上げて、識別シュートを開きます。
この時、紙幣や異物が詰まっている場合は、取り除いてください。



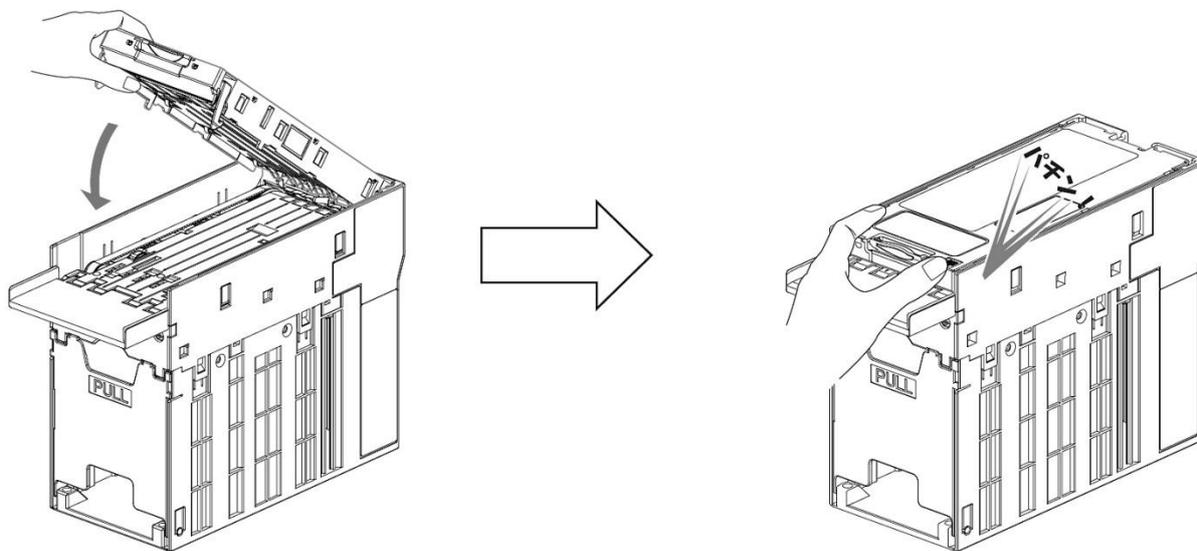
- ② 識別シュートを手で開きながら、紙幣通路部、識別センサー、磁気センサーを清掃します。



- ③ ベルトを回転させて、柔らかい布でベルトを乾拭きします。

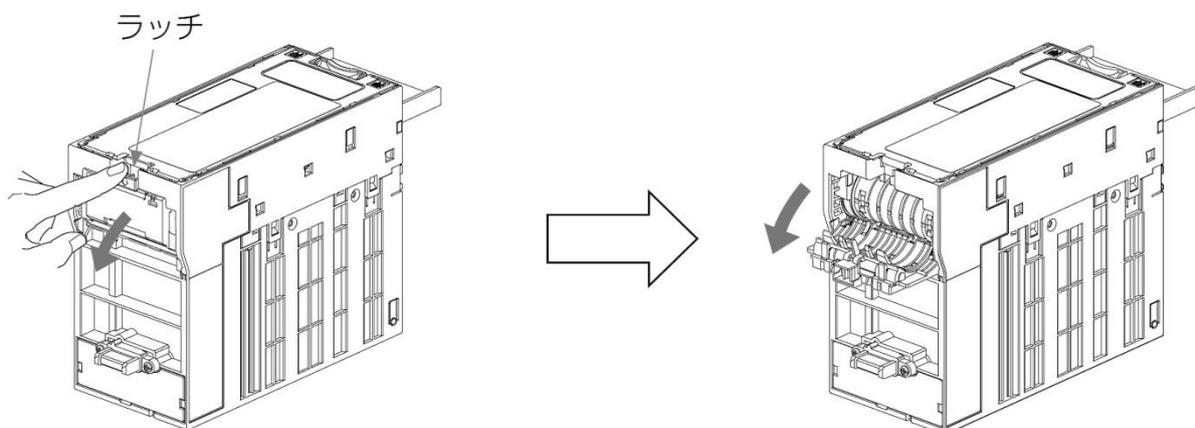


④ 識別シュートを「パチン」と音がするまで閉じます。

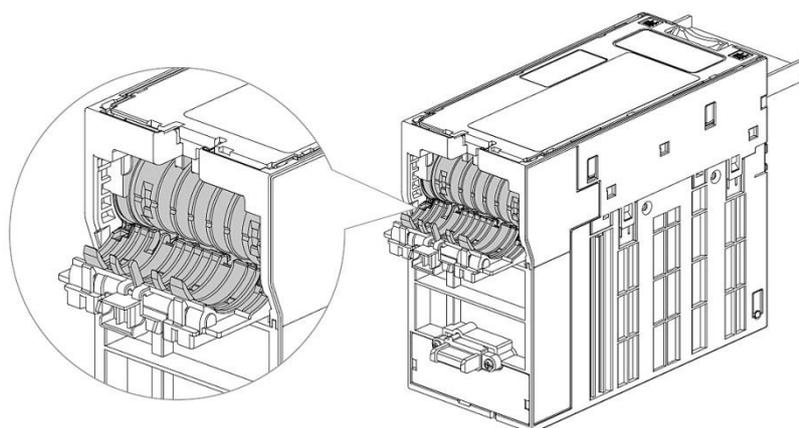


9-1-2 リアシュートの清掃

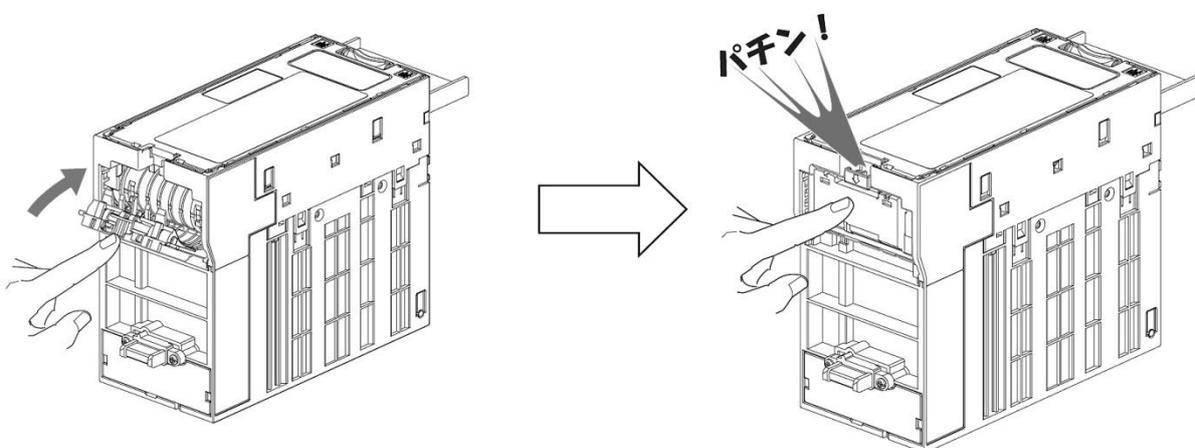
- ① ラッチを押し下げリアシュートを開きます。この時紙幣や異物が詰まっている場合は、取り除いてください。



- ② リアシュートの紙幣通路部を清掃します。

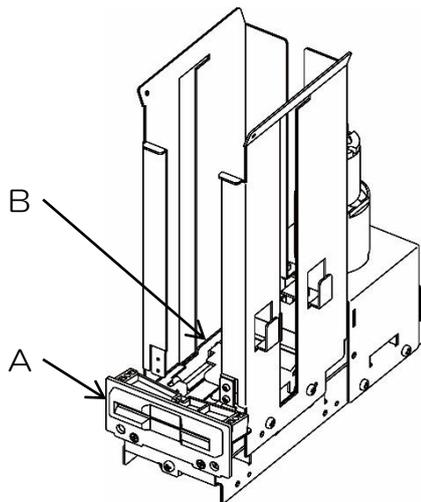


- ③ リアシュートを「パチン」と音がするまで閉じます。



9-2 カード払い出し機の清掃

- ① カード払い出し部(下図A)や収納部(下図B)の中に、異物やゴミがある時は取り去ってください。
- ② 払い出し部や収納部の内部の汚れがはげしい時は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ③ 払い出し口に、異物やゴミが付着している時は取り除いてください。
この時、払い出し口のゲート部分(下図A)にキズをつけたり広げたりしないように注意してください。



10 エラー表示およびエラー解除方法

エラーコード	エラー名	エラー要因
E-10	紙幣満タン	紙幣を回収してください。
E-11	紙幣詰まり 紙幣識別機上蓋開き	紙幣詰まりがないか、紙幣識別機の各蓋が完全に閉まっているか確認してください。
	引き抜き異常	紙幣収金動作中に紙幣の逆流を検知した場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	モーターパルス異常	電源投入時、モーターに異常があった場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	キャリア SW 異常	紙幣を金庫に収納する際に異常が発生した場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
E-20	カード無し	カードを補充してください。
E-21	カード払い出し不良	カードが詰まっていないか確認してください。
E-22	カード送出しモーター不良	販売店まで連絡をお願い致します。
E-30	前面パネル開き	前面パネルを確実に閉めてから警報ブザーの設定を行ってください。 ※「12 警報ブザーの動作」参照
Cn-1	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けていないか確認してください。
Cn-2	カード払い出し機コネクタ 抜け	カード払い出し機のコネクタが抜けていないか確認してください。
E-60	通信異常	オプションの LAN ユニットがある場合に発生するエラーです。販売店まで連絡してください。
44n9	システム異常	販売店まで連絡してください。

紙幣詰まり、センサー異常等が発生した場合[E-11]が表示されますが、この場合はエラー要因を取り除くと自動復帰します。

モーターパルス異常(電源投入時)、キャリア SW 異常(スタック動作時)、引き抜き異常が発生した場合も[E-11]が表示されますが、この場合は、エラー要因を取り除いても自動復帰しません。電源の再投入をお願いします。

カード払い出し不良[E-21]、カード送出しモーター不良[E-22]は、エラー要因を取り除き、電源の再投入で復帰します。

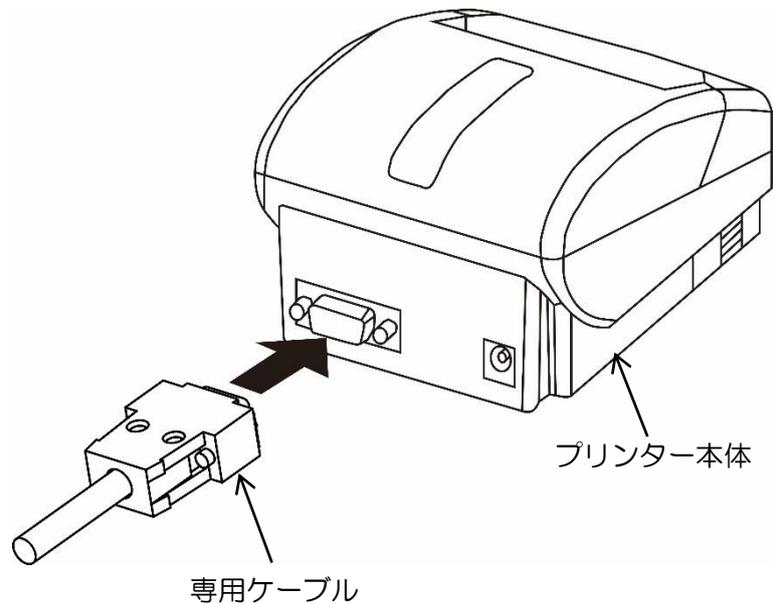
その他は、エラー要因を取り除くと自動的に復帰します。

上記方法を行っても復旧しない場合は、販売店まで連絡お願い致します。

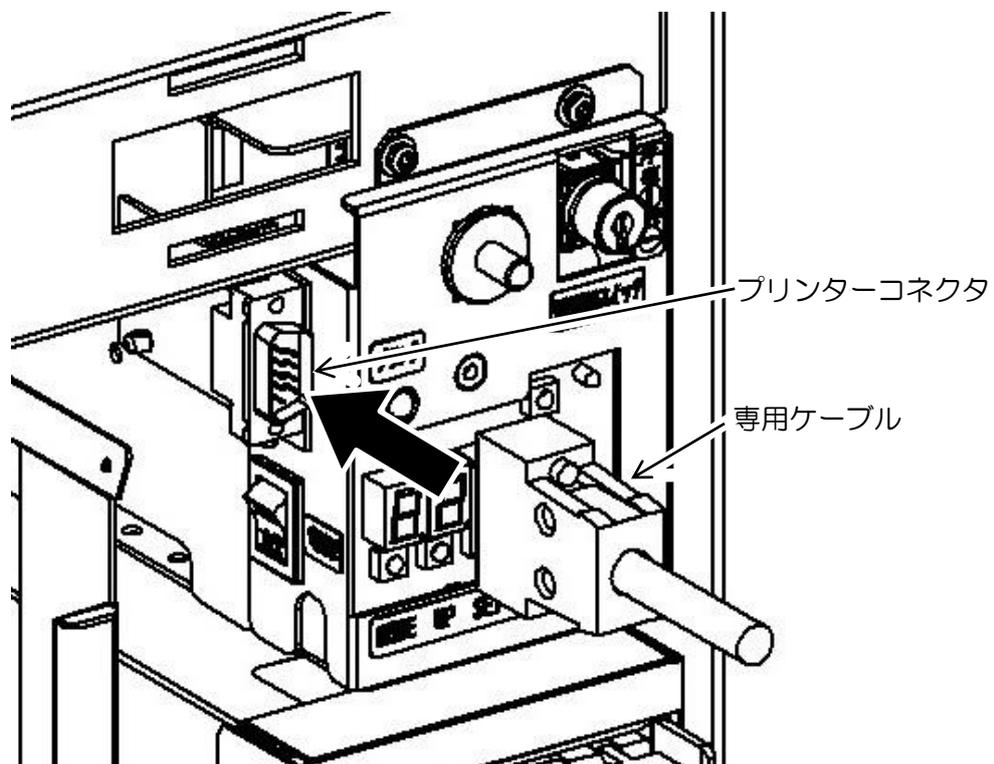
11 プリンターの接続方法

別売りの専用プリンターと専用ケーブルを接続します。

- ① 専用ケーブルをプリンター本体と接続します。

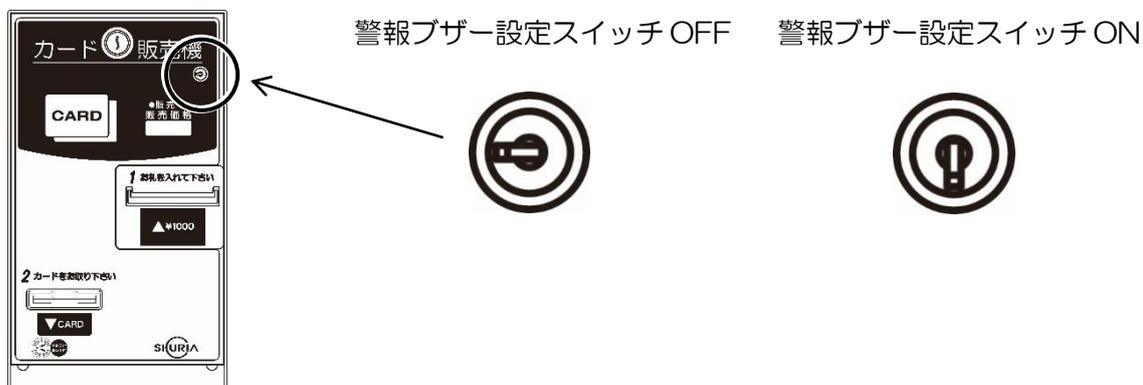


- ② 専用ケーブルを本体のプリンターコネクタへ接続します。



1.2 警報ブザーの動作

- ① 警報ブザー設定スイッチがONの状態で作動します。警報ブザーを止める場合、または前面扉を開ける際は警報ブザー設定スイッチをOFFにしてください。



- ② 警報ブザーが鳴る要因としては以下の3つがあります。

- 電源コンセントの引き抜き
- 停電
- 前面扉が不正に開いた時

- ③ 警報ブザーの解除

警報ブザー設定スイッチをOFFにした場合、警報ブザーは停止します。停止中に警報ブザーが鳴る要因を解除してください。

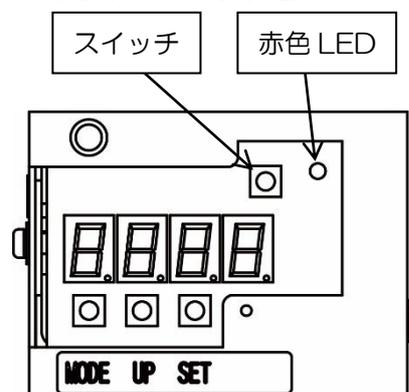
警報ブザーが鳴る要因	解除方法
電源コンセントの引き抜き	電源コンセントの再投入
停電	停電復旧
前面扉が不正に開いた時	警報ブザー設定スイッチを解除し前面扉を正しく閉め 警報ブザー設定スイッチをONにする。

- ④ 警報ブザー用電池の交換について

電池交換の目安としてバッテリーチェックスイッチを装備しております。スイッチを押して赤色LEDの発光が暗く感じたら電池を交換してください。

(注) 警報ブザー用電池は、1年ごとに交換してください。

電池の品名：マンガン乾電池(積層形)
電池の型式：006P形
電池の電圧：9V形



電池の交換の際は安全のため電源スイッチをOFFにして、コンセントを抜いてから

交換してください。

1.3 製品仕様

項目	内容	
制御方式	1 チップマイクロコンピュータによる動作制御	
販売口座数	1 口座	
対応紙幣	1000 円紙幣のみ	
上限金額	1000 円～5000 円(1000 円単位設定)	
入金カウンタ	トータルカウンタ (リセットなし)	期間カウンタ (リセットあり)
表示	緑色 7 セグメント 4 桁表示	
販売中ランプ	青色点 LED 表示	
紙幣収納枚数	480 ⁺¹²⁰ ₋₀ 枚 (官封紙幣) ただし、流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。	
紙幣挿入方向	長手 4 方向	
販売カード	JIS-II 型 PET カード 厚さ 0.26±0.02mm または 0.22±0.02mm※注 1	
カード収納枚数	厚さ 0.26mm:約 500 枚 厚さ 0.22mm:約 600 枚※注 1	
盗難警報ブザー	コンセント引き抜き時および前面扉こじ開け	
時計精度	月差 60 秒以内(常温時)	
停電保証	大容量コンデンサーによる動作記憶 停電後 1 週間(フル充電状態にて)	
塗装色	焼付塗装 日塗工 A75-80B、マンセル 5PB8/1	
使用環境	屋内専用 温度:5～45℃ 湿度:30～90%(結霜、結氷なき事)	
設置方法	自立式	
本体外形寸法	200mm(W)×350mm(H)×220mm(D)	
架台寸法	200mm(W)×750mm(H)×220mm(D) 底板:280mm(W)×300mm(D)	
重量	本体:約 12kg 架台:約 9kg	
電源	AC100V 50/60Hz	
電源変動許容範囲	AC100V±10V	
消費電力	待機時:5W 動作時:14W	
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上	
耐電圧	AC1000V/1 分間(充電部—非充電部)	
静電気耐力	8KV 以上(IEC 61000-4-2 準拠)	
耐ノイズ	モード :ノーマルモード、コモンモード パルス幅:1 μSec パルス高:±1200V 位相 :0～360° 3 分間重畳し誤動作なき事	

※注 1 厚さ 0.22mm のカードを使用する場合は、カード払い出し機の調整が必要です。

14 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

1) 保証内容

一 保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

一 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社商品に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a) 取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱いならびにご使用による場合
 - b) 当社製品以外の原因の場合
 - c) 当社以外による改造または修理による場合
 - d) 当社製品本来の使い方以外の使用による場合
 - e) その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合
- なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2) 責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3) サービスの範囲

当社商品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4) 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上